

AD-3256

デジタル膜厚計

詳細取扱説明書

AND 株式会社 **エー・アンド・ティ**

1WMPD4005515

ご注意

- (1) この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断複製は禁止されています。
- (2) この取扱説明書の記載事項および製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響は、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2024 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目次

1.	はじめに	5
2.	ソフトウェア使用許諾契約書	6
3.	安全にお使いいただくために	7
4.	製品の特長	8
5.	梱包内容	9
6.	使用上の注意	10
7.	各部の名称	11
7-1	本体の名称	11
7-2	表示部	12
8.	電池交換方法	13
9.	電源オン / オフ	15
9-1	電源をオンする	15
9-2	電源をオフする	15
10.	測定する	16
10-1	調整	16
10-2	測定方法	19
11.	データログ機能	21
12.	各種設定	22
12-1	ブザー	23
12-2	画面明るさ	23
12-3	2点調整	24
12-4	アラーム機能	27
12-4-1	規格値上限	27
12-4-2	規格値下限	28
12-4-3	LED ランプ	29
12-5	デバイス初期化	30
12-6	連続測定	31

12-7	データ削除	32
12-8	画面自動回転機能	33
12-9	判定モード	34
13.	アプリのインストールと起動	39
13-1	「AD-3256 Logger」をダウンロードする	39
13-2	「AD-3256 Logger」をインストールする	39
13-3	「AD-3256 Logger」を起動する	41
13-4	製品本体を接続する	42
14.	表示と機能	43
14-1	メニューとツールバー	43
14-2	測定データ表示	44
14-3	フォルダー表示と操作	45
15.	PCで測定データを確認する	46
16.	データを保存する	48
16-1	Excelでデータを保存する	48
16-2	JPGでデータを保存する	50
16-3	PDFでデータを保存する	52
17.	Live Dataを表示する	55
18.	保存したデータを読み込む	57
19.	こんなときには	58
20.	仕様	60

1. はじめに

このたびは、デジタル膜厚計 AD-3256 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前に本体付属の簡易取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読みいただいた後も大切に保管してください。

製品情報ページからは、最新版の「簡易取扱説明書」と「詳細取扱説明書」(本書)がダウンロードできます。

弊社ホームページ :<https://www.aandd.co.jp>



[AD-3256 製品ページ](#)

⚠注意

(株) エー・アンド・デイは、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。

- ・ Microsoft Windows および Excel は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2. ソフトウェア使用許諾契約書

- 「AD-3256 Logger」を弊社に無断で複製することは禁じます。
- 「AD-3256 Logger」は予告なく仕様を変更することがあります。
- 「AD-3256 Logger」の著作権は、(株)エー・アンド・デイにあります。
- 「AD-3256 Logger」はエー・アンド・デイ製デジタル膜厚計(AD-3256)からパソコンへのデータ転送に使用します。
- 「AD-3256 Logger」は、デジタル膜厚計(AD-3256)と接続するパソコンに限りインストールして使用できます。
- (株)エー・アンド・デイは、「AD-3256 Logger」または「デジタル膜厚計 取扱説明書」の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。

2024年12月

株式会社エー・アンド・デイ



3. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

注意事項の表記方法

本取扱説明書には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次のようなマークを表示しています。マークの意味は次のとおりです。

警告表示の意味

 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

この機器を操作するときは、いつも下記の点に注意してください。

注意

修理

ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷および機能を消失する恐れがあります。

機器の異常

機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」中であることを示す貼紙を機器に付けるか、あるいは誤って使用されることのない場所へ移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

4. 製品の特長

膜厚計は自動車や橋梁等の塗装の厚さが測定できる測定器です。

- 液晶画面がカラー表示で見やすくなっています。
- 測定対象の金属を自動的に判別し、測定対象に合った測定方式(電磁式、渦電流式)で測定します。
- プロブと一体型となっており、本製品本体センサー部分を測定対象に押し当てるだけで、簡単に測定ができ、測定データを自動的に保存します。(500 件まで)
- USB ケーブルで PC に接続でき、専用ソフトにてデータ転送・保存ができます。
- 3 色 LED コンパレータライトとアラームで閾値オーバー(上限/下限)の判別ができます。
- 画面自動回転(90°、180°、270°)でどんな角度でも見やすい表示になります(画面ロック機能有)。
- ゼロ点調整は、1 点調整または 2 点調整ができます。

5. 梱包内容

開梱の際には、以下のものが入っているかご確認ください。

• AD-3256 本体	1
付属品	
ゼロ調整板(鉄素地用、非鉄素地用、各 1 枚).....	2
調整用試験片	5
マイクロ USB ケーブル(Type-A – Micro-B)	1
キャリングケース	1
センサーキャップ	1
ストラップ	1
電池(モニタ用).....	2
簡易取扱説明書	1

注意

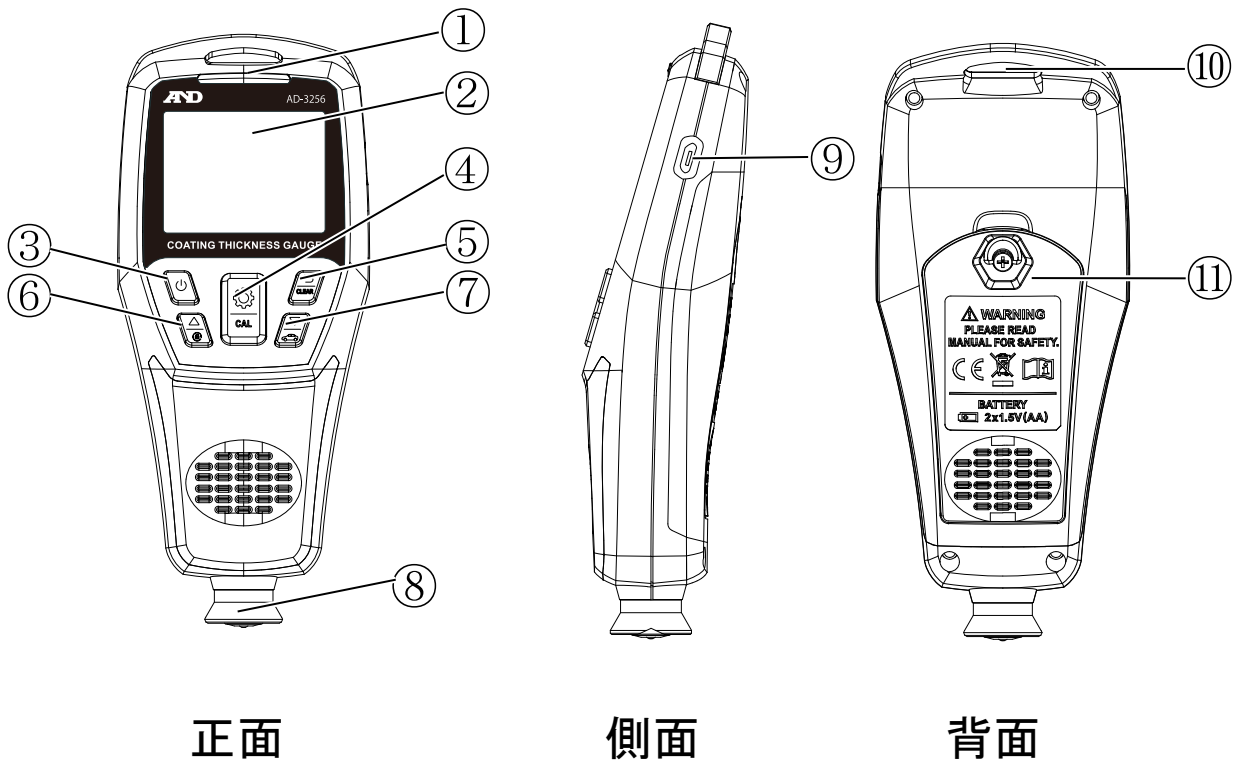
ゼロ調整板の鉄素地用と非鉄素地用の見分け方につきましては、12 ページ「7-2 表示部」をご参照ください。また、磁石を近づけ、引き寄せられるものは鉄素地、引き寄せられないものは非鉄素地として判断できます。

6. 使用上の注意

- 強い衝撃を与えたりすると、破損や故障の原因となります。
- 長時間直射日光を受ける場所や、密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近くではご使用にならないでください。本製品の動作温度範囲は、**0 ~ +40°C**です。この温度範囲を超えて使用した場合は故障の原因になります。
- 暑いところから寒いところへ、また寒いところから暑いところへの急な移動は避けてください。急激な温度変化により、内部に水滴が付き、故障の原因になります。
- 強い磁場や電界のある場所(テレビやIH調理器具、電子レンジなど)では、機器に影響を与える恐れがあります。そのような場所でのご使用は避けてください。
- 本製品は防滴や防水構造にはなっていないので、水中に入れたり水洗いしたりしないでください。

7. 各部の名称

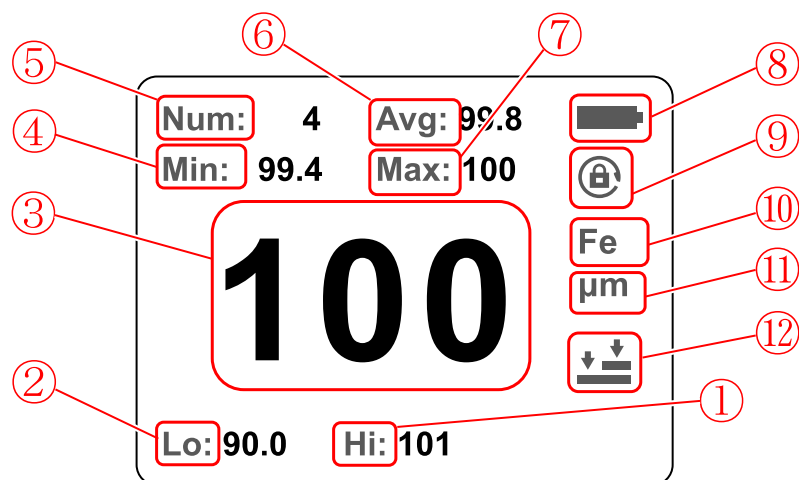
7-1 本体の名称



- ①LED ランプ
- ②液晶画面
- ③電源ボタン
- ④設定/確定/調整ボタン
- ⑤キャンセル/戻る/保存データ全削除
- ⑥数値プラス/上移動/画面ロック
- ⑦数値マイナス/下移動/判定モード
- ⑧センサー部分
- ⑨USB インターフェイス(Micro-B)
- ⑩ストラップ取付穴
- ⑪電池フタ

7-2 表示部

電源をオンして測定可能状態になると、測定画面が表示されます。



表示アイコン

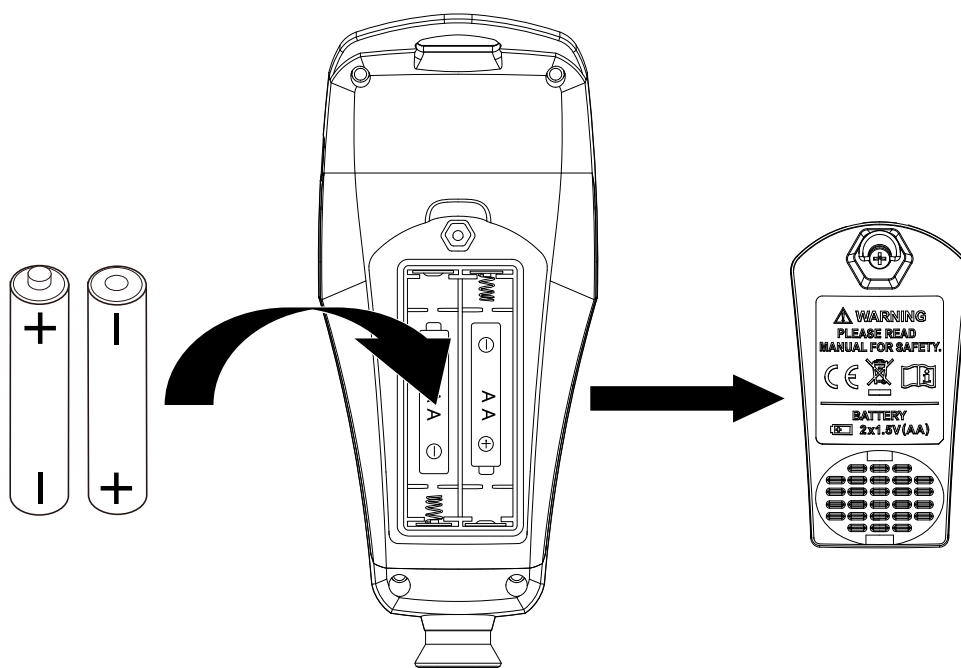
番号	説明
①	設定上限値を表示します。
②	設定下限値を表示します。
③	測定値を表示します。
④	保存データ最小値を表示します。
⑤	測定データ保存番号を表示します。
⑥	保存データ平均値を表示します。
⑦	保存データ最大値を表示します。
⑧	電池残量を表示します。
⑨	画面自動回転機能 ON/OFF の設定を表示します。
⑩	素地種類を表示します。 (Fe : 鉄素地、NFe : 非鉄素地)自動判別 ※1
⑪	測定単位を表示します。
⑫	調整モード種類の設定状態を表示します。

※1 付属品の鉄素地用 / 非鉄素地用ゼロ調整板は、それぞれ測定することにより、⑩の素地種類表示で識別できます。

8. 電池交換方法

ご購入時には、本体電池ボックス内には電池が装着されていません。ご使用前に付属の電池を本体電池ボックス内に装着してください。また、付属の単3乾電池はモニタ用のため電池寿命が短い場合があります。必ず新しい電池をご購入の上ご使用になりますようお願いいたします。

初めてご使用になるとき、または表示が薄くなった場合には、以下の手順で電池を装着または交換してください。



電池の交換方法



- 手順 1. 本体裏面電池フタネジの金具を回して、電池フタを外します。
- 手順 2. 古い電池を取り出します。
- 手順 3. 新しい電池の、極性を間違えないようにして入れます。
- 手順 4. 電池フタを元に戻して、ネジの金具を回して電池フタを取り付けます。

⚠電池使用上の注意

- ・ 付属の電池はモニタ用のため、電池寿命が短い場合があります。
- ・ 仕様に記載されている電池寿命は、周囲温度 25 °C時で新品のアルカリ電池を使用し、ブザーやLEDランプを使わない場合のものであります。周囲温度やブザーやLEDランプの使用頻度によっては、極端に電池寿命が短くなる場合があります。
- ・ 本製品を長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
- ・ 電池は必ず単3乾電池2個をご使用ください。
- ・ 電池交換の際には2個とも新しい電池に交換してください。新旧電池を混ぜて使うと、液漏れの恐れがあります。
- ・ 電池容量の少ない電池を入れたときや使用中に電池容量が少なくなってくると、正常な表示や動作ができなくなる場合があります。このような場合は、新品の電池に交換してください。
- ・ 電池は極性を間違えないようにセットしてください。電池を逆に入れると正常に動作しないばかりか、故障の原因になります。
- ・ 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- ・ 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- ・ 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いいたします。

9. 電源オン / オフ

9-1 電源をオンする


 ボタンを2秒以上押し続けると、起動画面が表示されます。起動画面が表示されたら  ボタンから指を離してください。

「ピー」というブザーが鳴り、LEDランプがオレンジ、緑、赤の順に点灯し、ロードゲージが100%になると測定画面が表示されます。

注意

- ・ご購入時、電池ボックスには電池が入っていません。ご使用前に [13 ページ「8 電池交換方法」](#) を参照し、電池を正しく入れてください。
- ・ブザーOFF 設定時には音がなりません。
- ・LED ランプ OFF 設定時は点滅しません。

9-2 電源をオフする

 ボタンを押し続けて「ピー」とブザーが鳴ったら指を離してください。

表示画面が消え、電源がオフします。

注意

ブザーOFF 設定時には音がなりません。

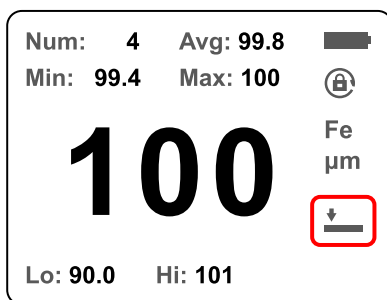
10. 測定する

10-1 調整

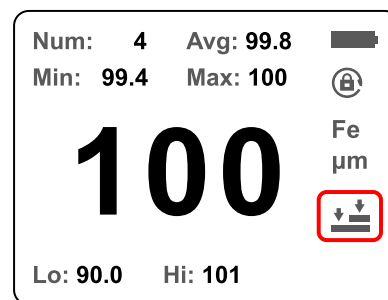
本製品は、測定誤差を出来る限り小さくして、精度の高い測定結果を得るために、必ず測定の前に「1点調整」または「2点調整」を行ってください。

ここでは「1点調整」について説明します。

より精度の高い測定を行いたい場合は、24 ページ「12-3 2点調整」をご参照ください。



1点調整表示



2点調整表示

注意

調整時には測定対象に合わせて、鉄素地用または非鉄素地用のゼロ調整板を用意する必要があります。

測定対象およびゼロ調整板の鉄素地または非鉄素地の判別方法は以下です。






	
<p>測定画面で測定対象またはゼロ調整板にセンサー部を押し当てる。</p>	<p>測定が完了すると画面右に素地が表示されます。</p>

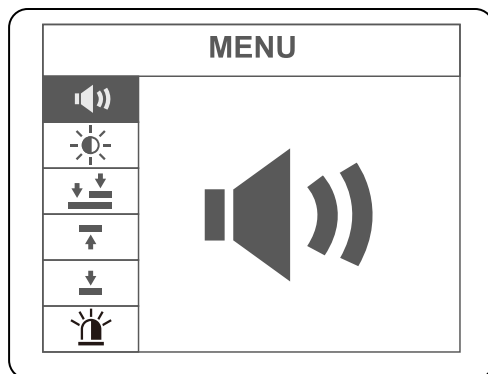
素地表示




鉄素地 : Fe

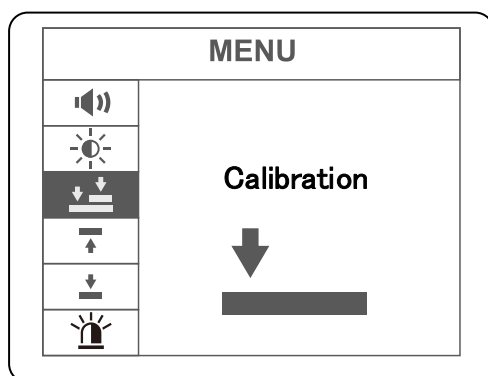
非鉄素地 : NFe

1点調整の場合


手順 1.  ボタンを押すと、下記メニュー画面が表示されます。 ボタンまたは  ボタンを押して  調整に黄色の枠を合わせ、 ボタンを押します。

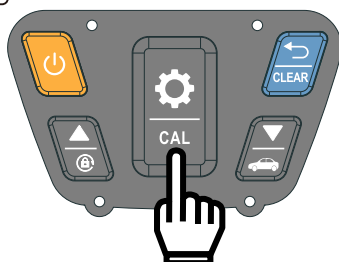


手順 2. ゼロ調整板図が黄色から白色に変わり、 ボタンまたは  ボタンを押して下図 1点調整にし、 ボタンを押します。

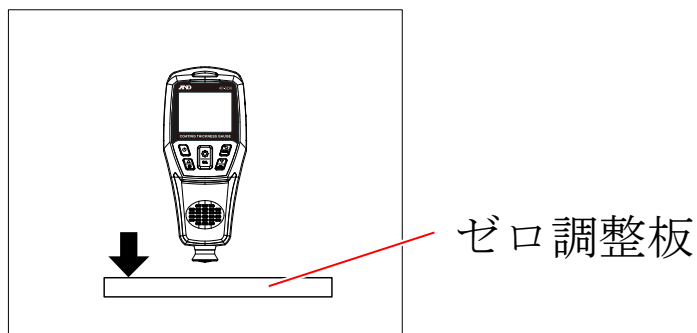


手順 3.  ボタンを押して測定画面に戻ります。

手順 4. 測定画面で  ボタンを 2 秒長押しします。



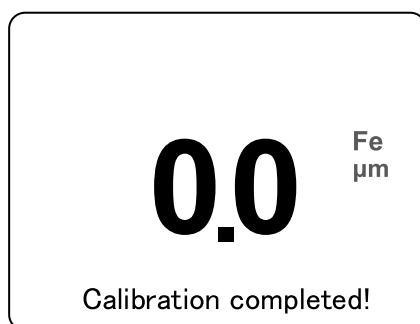
手順 5. 下記画像が表示されます。ゼロ調整板に本製品センサー部を押し当てます。



注意

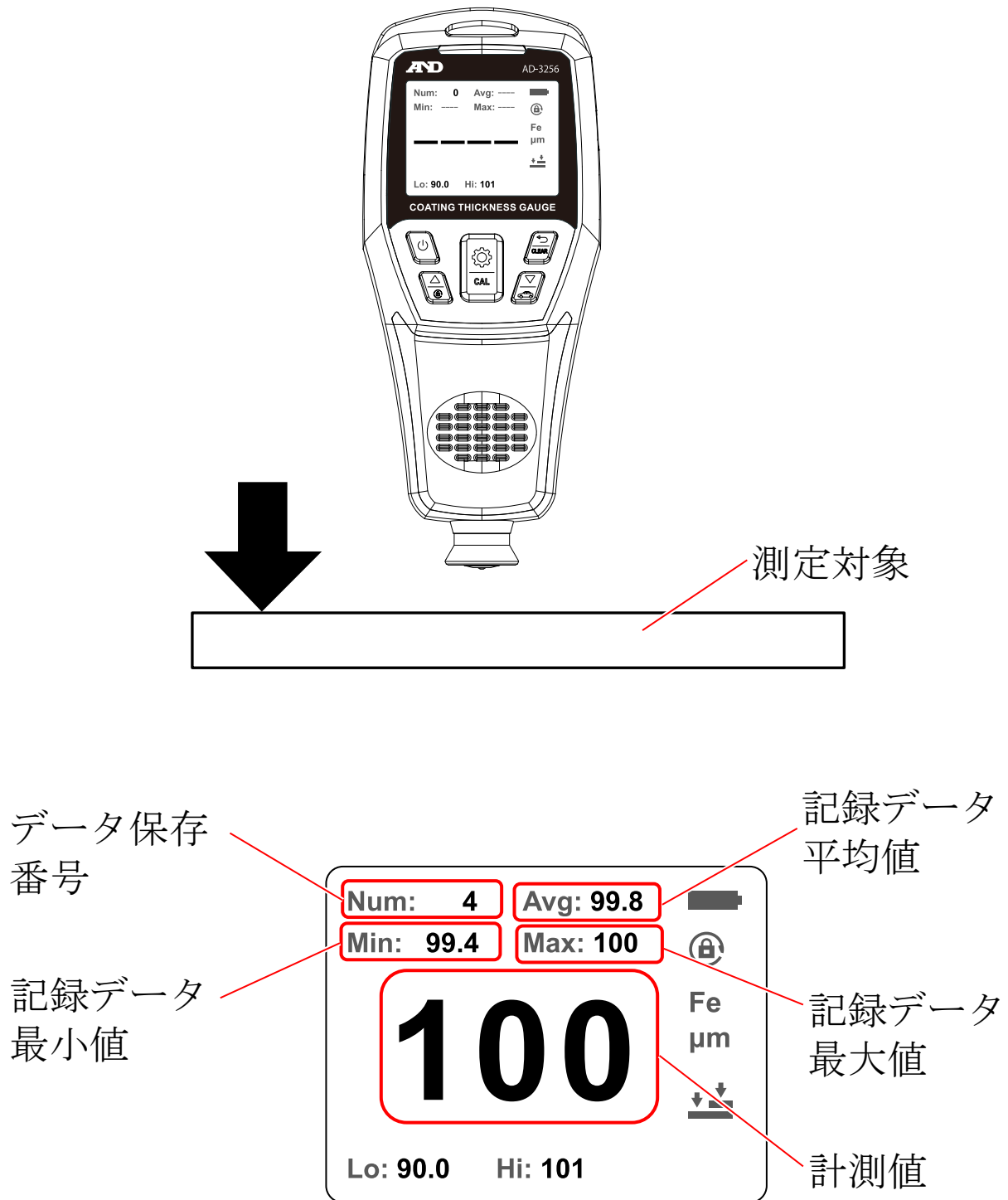
- ・ゼロ調整板使用時は保護フィルムを剥がしてご使用ください。また、センサー部を押し当てる面は保護フィルムを剥がした面をご使用ください。
- ・金属の上での調整は避けてください。金属の上にゼロ調整板を置き調整を行うと、調整値に誤差が生じる恐れがあります。

手順 6. 「ピッ」とブザーと共に LED ランプが緑点滅したら、センサー部をゼロ調整板から離します。測定値厚さの数値が「0.0」と表示されれば調整完了です。



10-2 測定方法

調整実施後、測定画面で測定対象にセンサー部を垂直に押し当てます。「ピッ」とブザーが鳴り、厚さの測定値、記録データ平均値、記録データ最小値、記録データ最大値が表示され、データ保存番号がカウントアップされます。



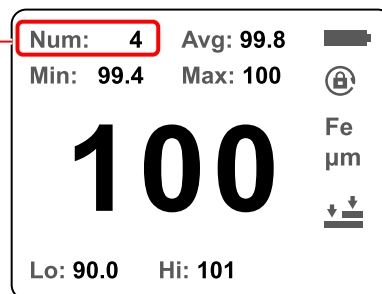
注意

- ・ センサー一部を斜めに当てたり強く押し付けたりすると、正確に計測できません。
- ・ 「Avg」、「Min」、「Max」は本製品本体に保存された全データから算出された値を表示します。
- ・ 被膜成分に磁性物が含まれている場合、正確に測定できません。
- ・ 測定対象の端で測定すると磁束が不均一となり、正確に測定できません。(センサー中心から半径 10 mm を確保してください)

11. データログ機能

本製品は測定する毎に自動的にデータを記録します。最大 500 件の記録が可能です。専用アプリを使用することにより、測定データをパソコンに転送でき、Excel 形式のファイルとして保存できます。データの転送、保存の手順は 5 ページ「1. はじめに」に記載の URL または QR コードで製品ページへ移動し、最新の詳細取扱説明書をご参照ください。下図「Num:」は保存されたデータ数を示します。

データ保存番号



注意

- ・ 製品本体で計測データの確認はできません。計測データは PC ソフトでのみ確認できます。
- ・ PC ソフトでの保存データ確認時の「Time」は測定時の時刻ではなく、データ取り込み時刻を示しています。

12. 各種設定

設定メニュー内で設定できる機能は以下の表のとおりです。






表示	設定項目	設定値
	ブザー	オン、オフ
	画面明るさ	5段階調整
	調整方式	1点調整、2点調整
	規格値上限	0.0～1200 μm ※1
	規格値下限	0.0～1200 μm ※2
	LED ランプ	オン、オフ
	デバイス初期化	すべての設定を削除、ストレージのフォーマット、デバイスの復元
	連続測定	連続測定
	保存データ削除	保存データすべてを削除

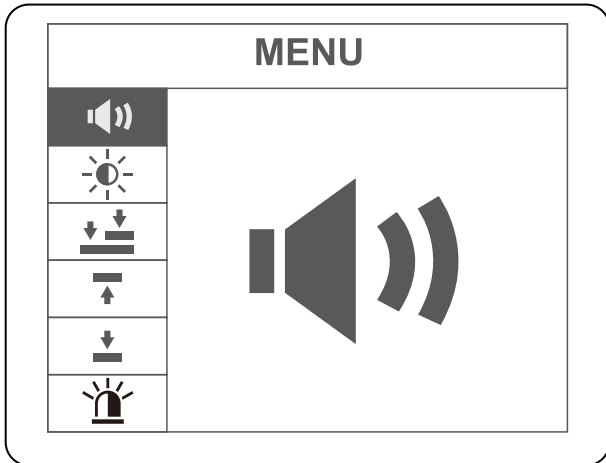
※1 下限値より低い値の設定はできません。

※2 上限値より高い値の設定はできません。

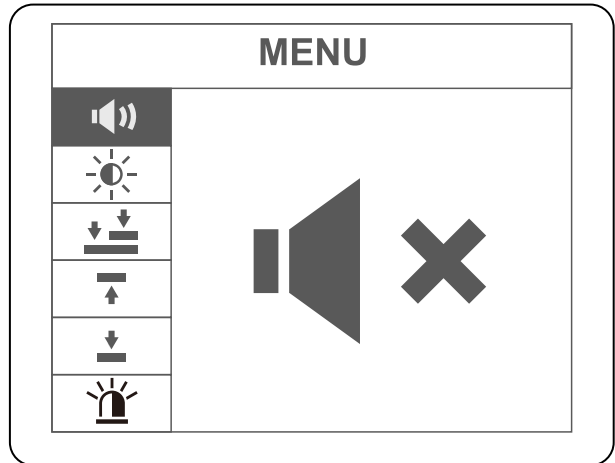
12-1 ブザー

ブザーのオン、オフを設定できます。

設定メニュー内の  ブザー設定で  ボタンを押し、
 ボタンまたは  ボタンを押して切り替え、 ボタン
で確定します。








オン

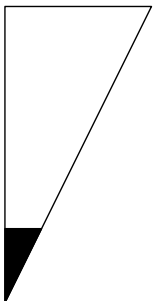


オフ

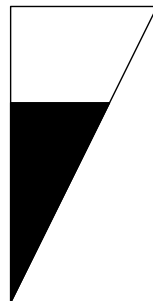
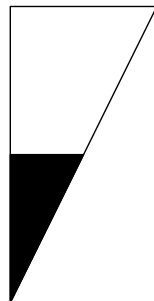
12-2 画面明るさ

画面明るさを5段階で設定できます。

設定メニュー内の  画面明るさ設定で  ボタンを押し、
 ボタンまたは  ボタンを押して画面明るさを調整し、
 ボタンで確定します。



暗い








明るい

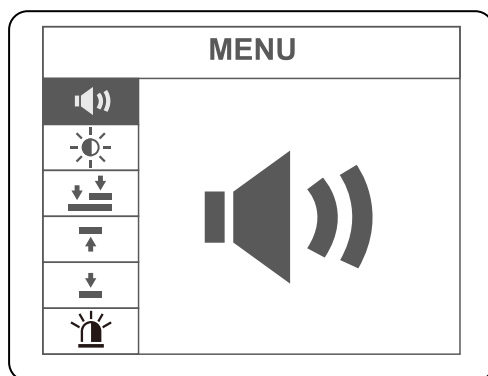
12-3 2点調整




「1点調整」よりさらに精度の高い測定を行いたい場合は、「2点調整」にて調整を行ってください。
「1点調整」については [17](#) ページをご参照ください。

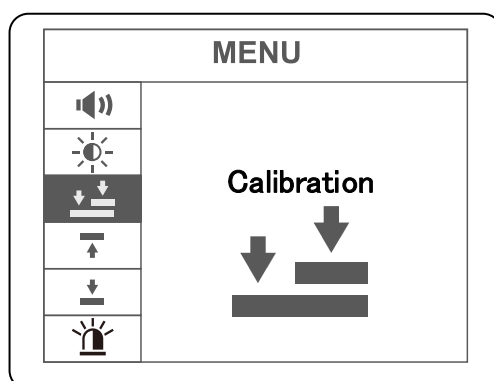
注意

調整時には測定対象に合わせて、ゼロ調整板の鉄素地用または非鉄素地用を選択する必要があります。


手順 1.  ボタンを押すと、下記メニュー画面が表示されます。 ボタンまたは  ボタンを押して  調整に黄色の枠を合わせ、 ボタンを押します。

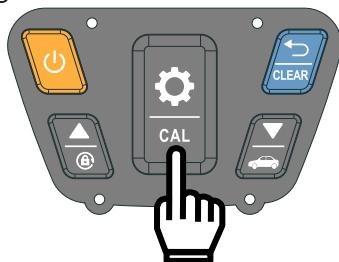


手順 2. ゼロ調整板図が黄色から白色に変わり、 ボタンまたは  ボタンを押して下図 2点調整にし、 ボタンを押します。

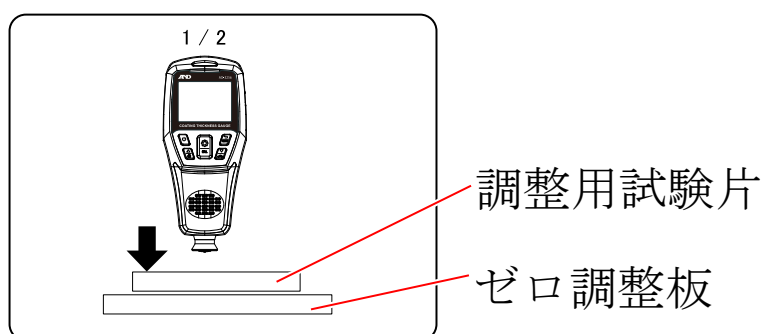


手順 3.  ボタンを押して測定画面に戻ります。

手順 4. 測定画面で  ボタンを 2 秒間、長押しします。



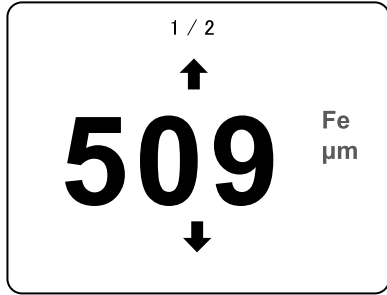
手順 5. 下記画像が表示されます。ゼロ調整板に調整用試験片を乗せ、調整用試験片に製品センサー部を押し当てます。



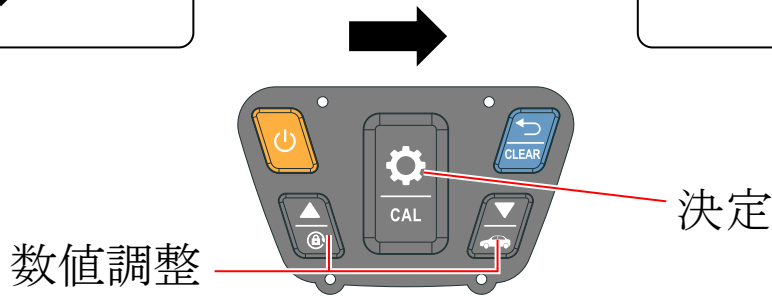
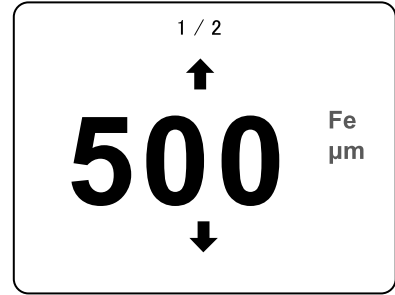
手順 6. 「ピッ」とブザーと共に LED ランプが緑点減したら、センサー部を調整用試験片から離します。

手順 7. 調整用試験片の厚さが表示されます。使用した調整試験片と誤差がある場合は ▲ ② ボタンまたは ▼ ③ ボタンで数値を設定・補正し、CAL ボタンを押して確定します。

例) 500 μm に設定する場合



▼ ボタンを
9回押し、
CAL ボタンで決定
する。



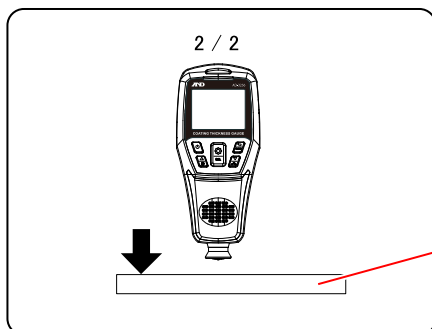
注意

▲ ボタンまたは ▼ ボタンを長押しすると 2 桁目の数値を変更できます。

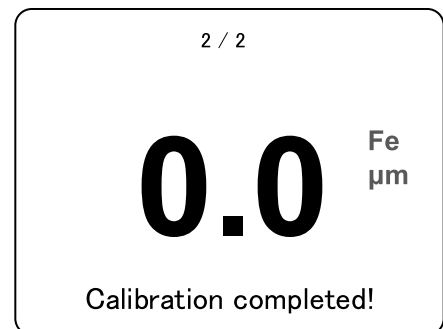
手順 8. 調整用試験片を取り除き、ゼロ調整板にセンサー部を押し当てます。

「ピッ」とブザーと共に LED ランプが緑点滅したら、センサー部をゼロ調整板から離します。

測定値厚さの数値が「0.0」と表示されれば調整完了です。



ゼロ調整板







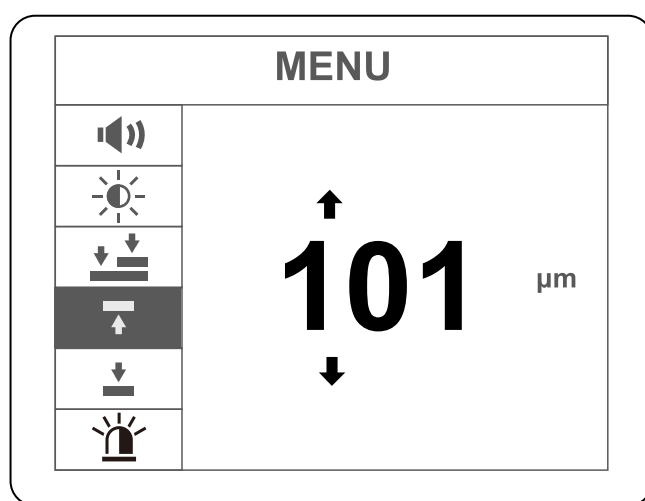
12-4 アラーム機能

規格値上限、下限を設定することにより、規格値内、規格値外(下限、上限)の判定をLEDランプでお知らせできます。

12-4-1 規格値上限

測定値の規格値上限を設定できます。

設定メニュー内の **↑** 規格値上限設定で  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して上限値を設定し、 ボタンで確定します。

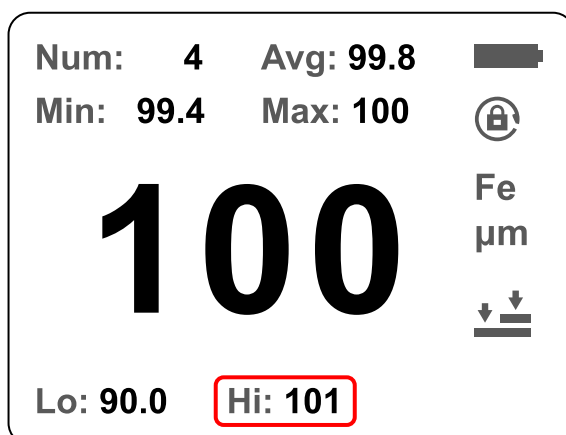


注意

下限値より低い値の設定はできません。





補足

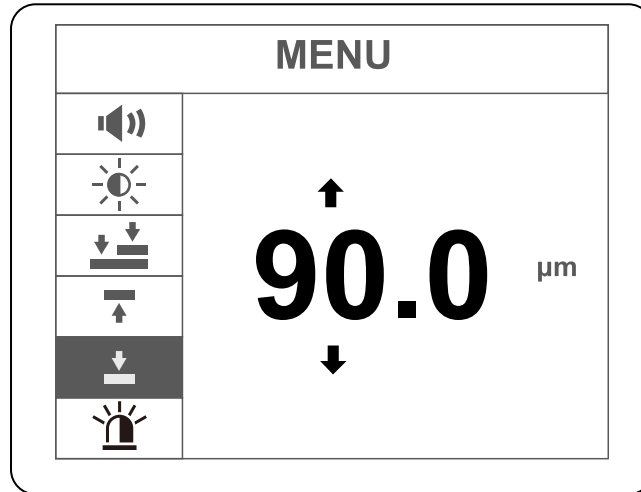
規格上限値設定により、測定画面の表示が変わります。



12-4-2 規格値下限

測定値の規格下限値を設定できます。

設定メニュー内の **↓** 規格値下限設定で  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して下限値を合わせ、 ボタンで確定します。

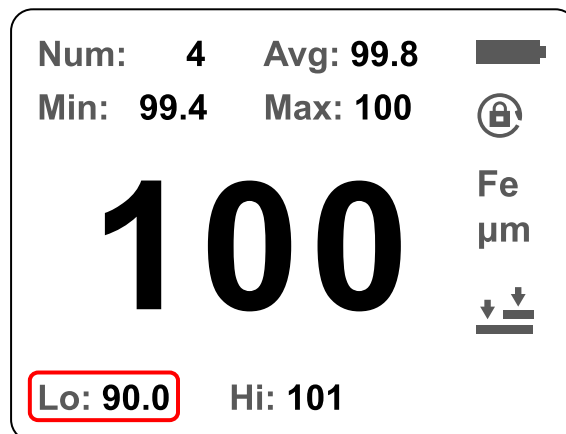


注意

上限値より高い値の設定はできません。


補足

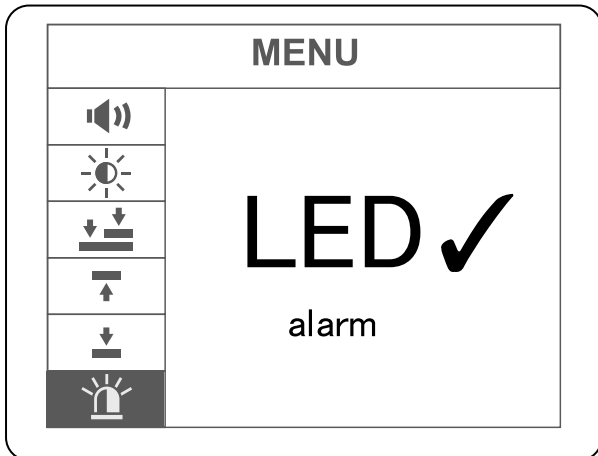
規格下限値設定により、測定画面上の表示が変わります。



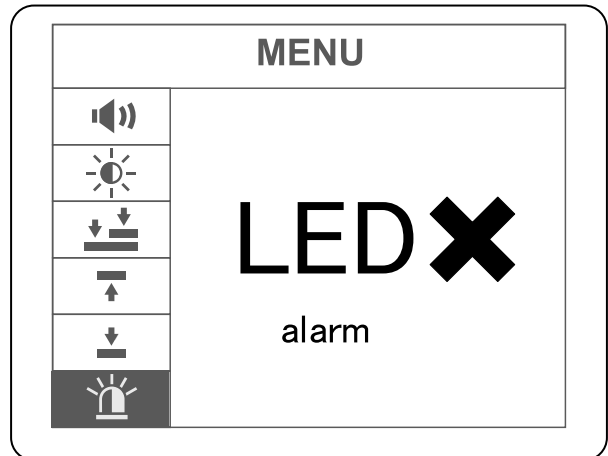
12-4-3 LED ランプ

LED ランプのオン、オフを設定できます。

設定メニュー内の  LED ランプ設定で  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して切り替え、 ボタンで確定します。



オン



オフ

LED ランプ種類

- ・ 緑 : 合格
- ・ 赤 : 規定値より下の値
- ・ オレンジ : 規定値より上の値

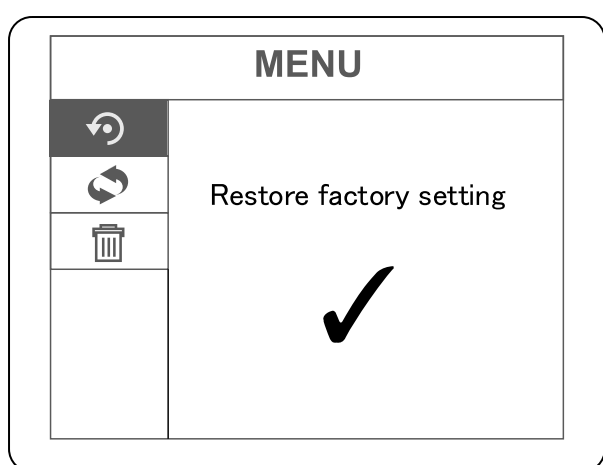
注意

LED ランプオフ設定時、上記 LED ランプは点灯することはありません。

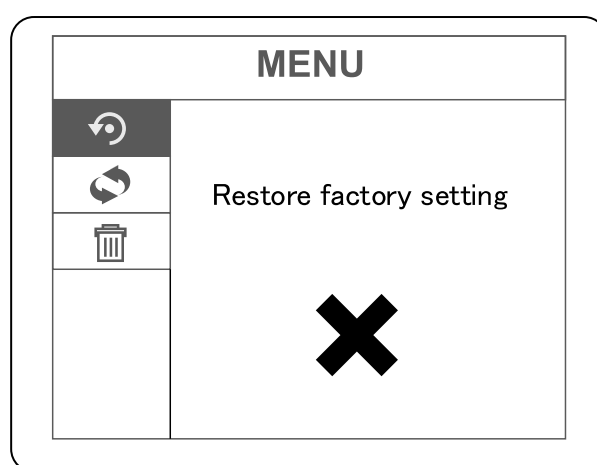
12-5 デバイス初期化

本製品の内部設定などを工場出荷時の状態に戻します。本製品を出荷時状態に戻したい場合や正常な動作をしない場合は、デバイスの初期化を行ってください。


手順 1. 設定メニュー内の  デバイス初期化で  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して実行もしくはキャンセルを切り替えます。



実行



キャンセル






手順 2. 実行画面で  ボタンを押すと「Restoring...」と表示され、数秒後に「Done!」と表示され、デバイス初期化が完了します。

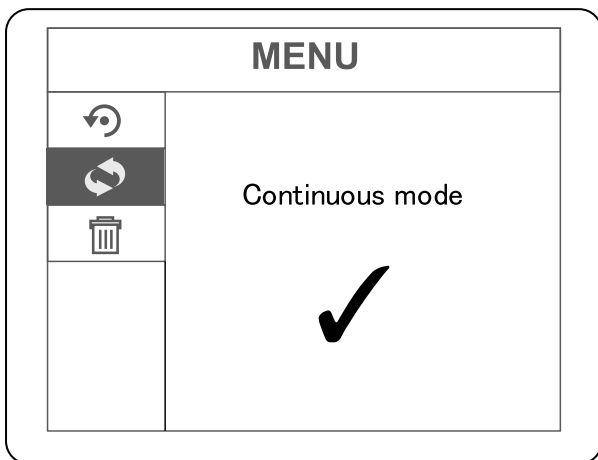
注意

デバイス初期化は保存データも削除されるため、必要に応じてデータ転送を行ってください。

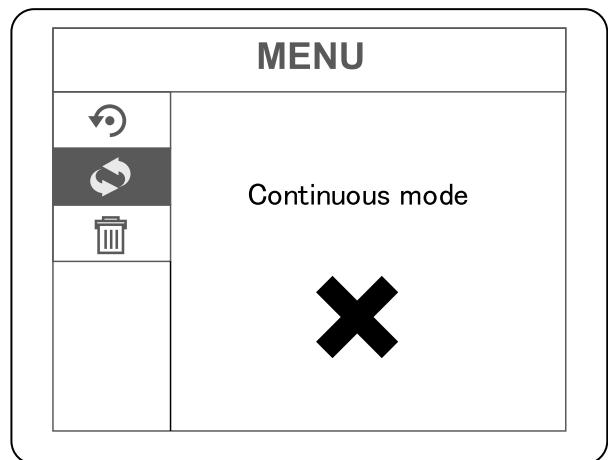
12-6 連続測定

測定対象に対してセンサー部を押し当てている間、連続で測定できます。

設定メニュー内の  連続測定設定で  ボタンを押し、
 ボタンまたは  ボタンを押してオン/オフを切り替え、
 ボタンで確定します。



オン







オフ

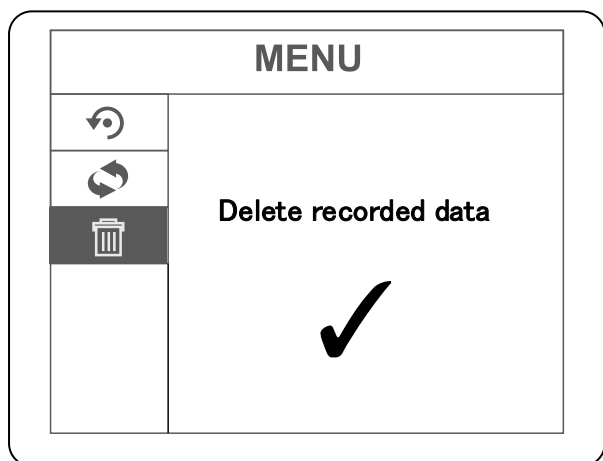
12-7 データ削除

本製品保存データをすべて削除できます。

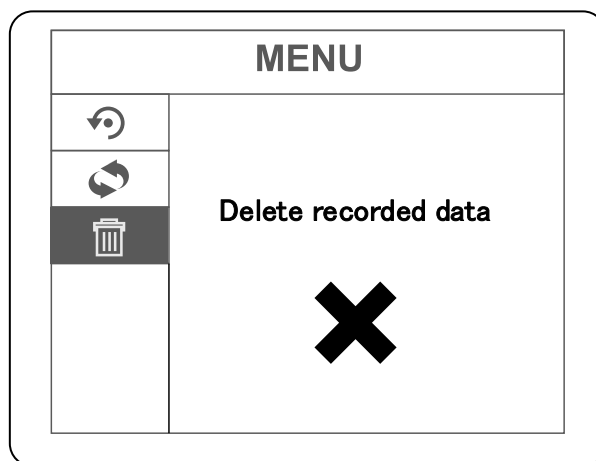
注意

本製品本体では個別でデータ削除することはできません。


手順 1. 設定メニュー内の  データ削除設定で  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して、実行もしくはキャンセルを切り替えます。




実行



キャンセル

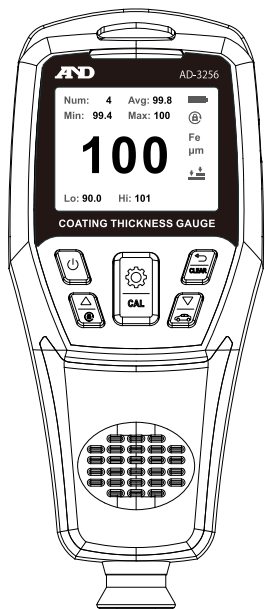
手順 2. 実行画面で  ボタンを押すと「Deleting...」と表示され、数秒後に「Done!」と表示されるとデータ削除完了です。

補足

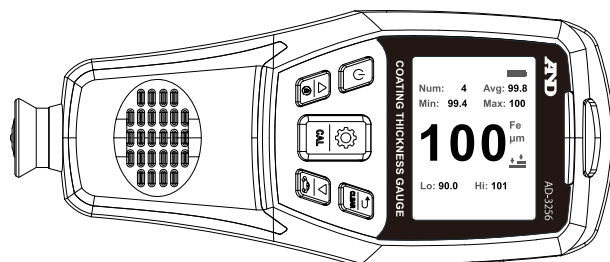
測定画面で  ボタンを長押しすることで、全データを削除できます。

12-8 画面自動回転機能


本製品は画面自動回転オン時、以下の様に本製品の使用状況に応じて自動で画面を回転させることができます。



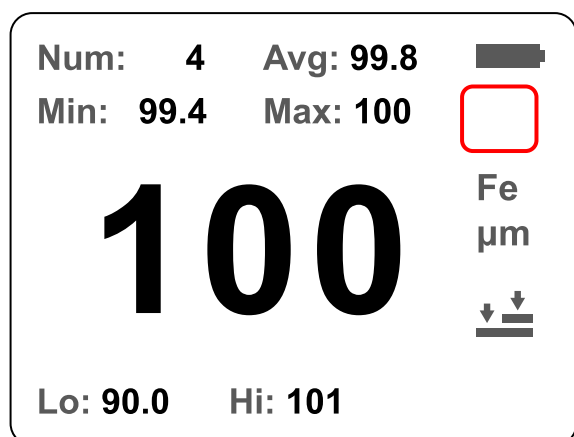
縦向き使用時表示画面



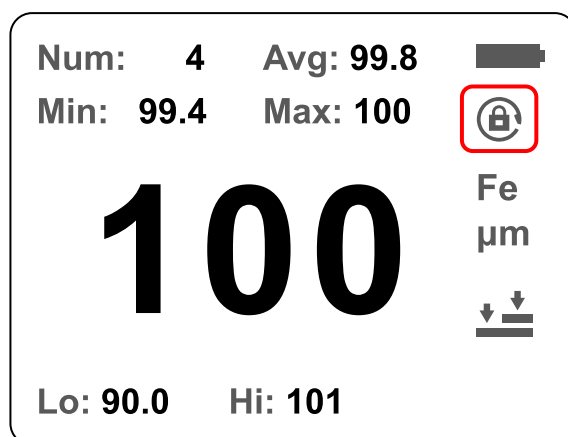
横向き使用時表示画面

表示画面を縦向き使用時画面で固定したい場合は、測定画面で  ボタンを長押しすると固定できます。

画面自動回転機能オン/オフの確認は以下測定画面の表示で確認できます。



画面自動回転オン時



画面自動回転オフ時


12-9 判定モード

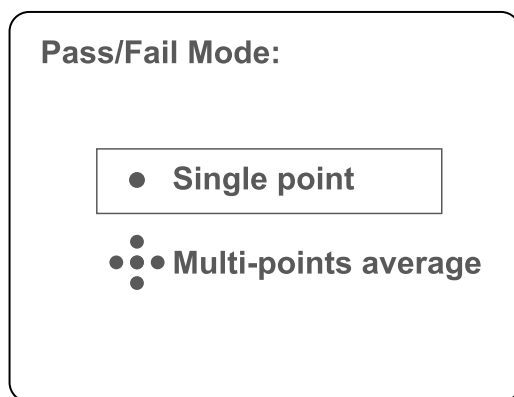
判定モードは通常の測定とは別に測定データを保存せずに測定し、設定基準値内であるかの確認ができます。

判定モードには1点判定モードと5点判定モードがあり、設定基準値から判定結果が表示されます。判定結果の「PASS」は設定基準値内であることを表します。「FAIL」は設定基準値外であることを表します。

1点判定モード



1点を測定して設定基準値内であるかの判定をします。

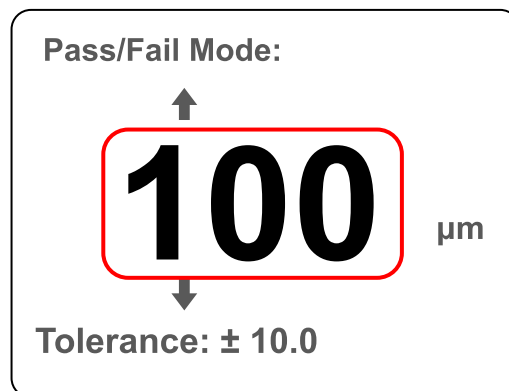
手順 1. 測定画面で  ボタンを長押しすると、以下画面が表示されます。「Single point」で  ボタンを押します。






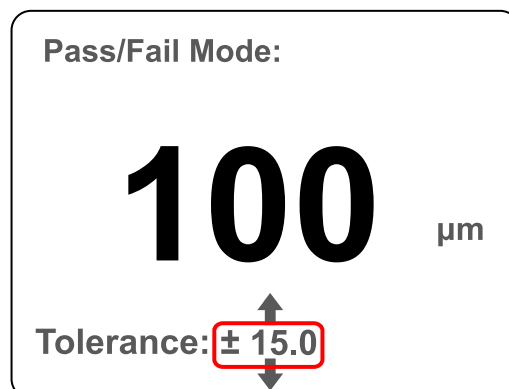
手順 2.  ボタンまたは  ボタンを押して基準値を設定し、 ボタンで確定します。

補足

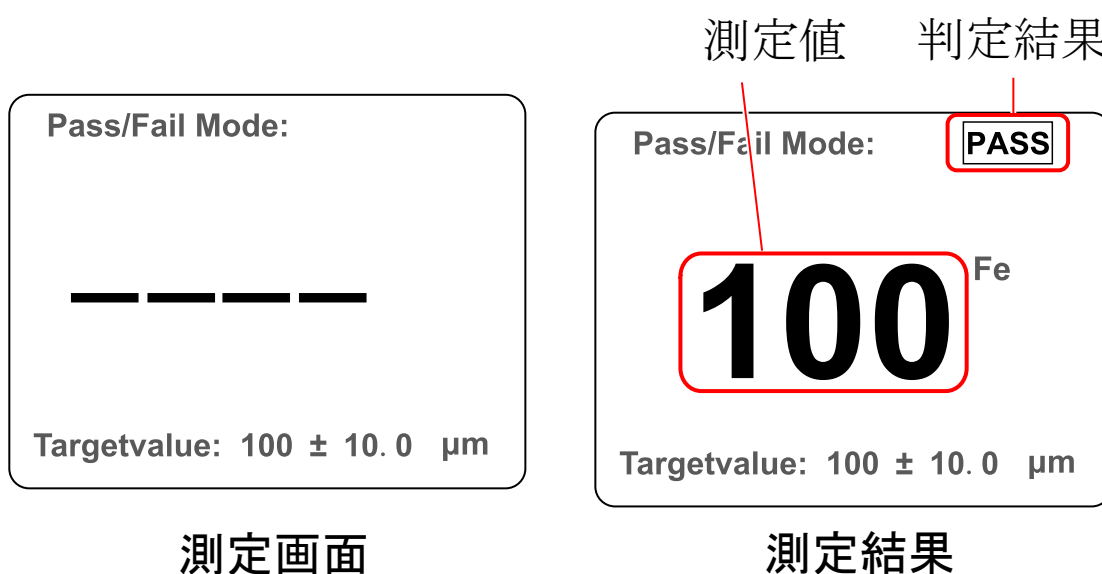
 ボタンまたは  ボタンを長押しすると 2 桁目の数値を変更できます。



手順 3. 基準値を確定すると、許容範囲の設定に移ります。
 ボタンまたは  ボタンを押して許容範囲を設定し、 ボタンで確定します。



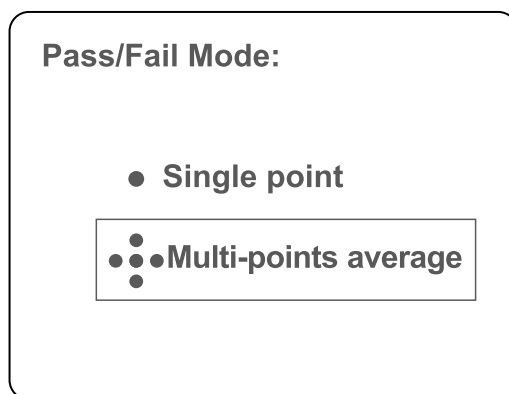
手順 4. 設定が終わると測定画面が表示されます。測定対象を測定すると、測定結果が表示されます。



5 点判定モード



5 地点(A~E 地点)を各 3 回測定し、各地点平均値が設定基準値内であるかの判定をします。

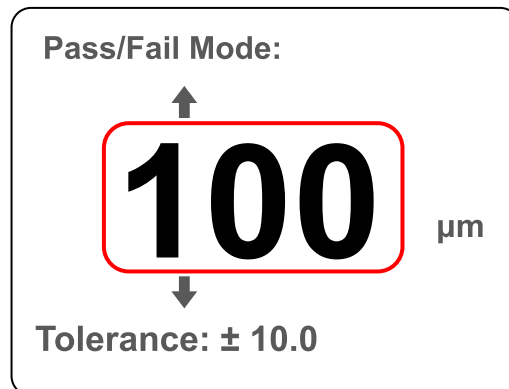
手順 1. 測定画面で  ボタンを長押しすると、以下画面が表示されます。 ボタンを押し、「Multi-points average」で  ボタンを押します。






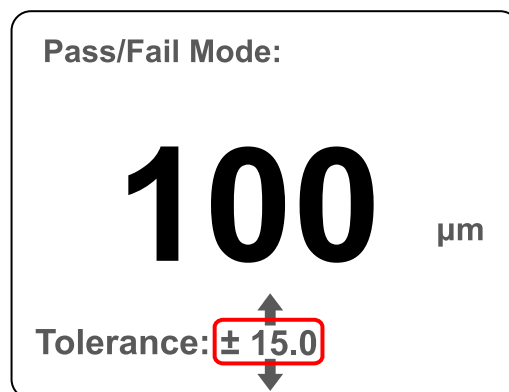
手順 2.  ボタンまたは  ボタンを押して基準値を設定し、 ボタンで確定します。

補足

 ボタンまたは  ボタンを長押しすると 2 桁目の数値を変更できます。



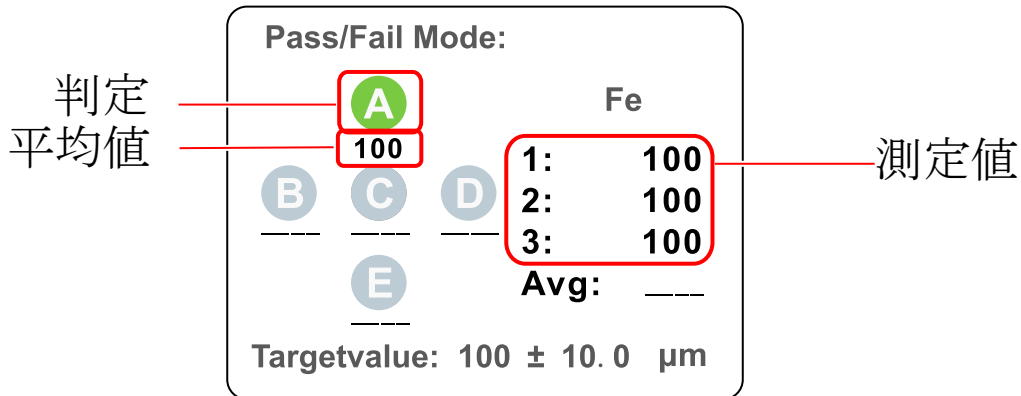
手順 3. 基準値が確定すると、許容範囲の設定に移ります。
 ボタンまたは  ボタンを押して許容範囲を設定し、 ボタンで確定します。



手順 4. 設定が終わると測定画面が表示されます。A 地点で 3 回測定すると、3 回の測定値と平均値、A 地点の判定が色で表示されます。

注意

各地点の判定は緑色が設定基準値内、赤色が設定基準値外です。

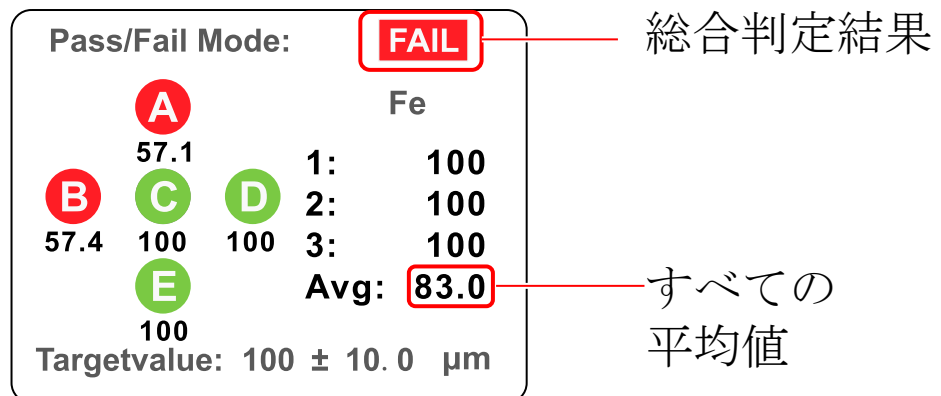


手順 5. B~E 地点も手順 4.と同様に測定します。

A~E 地点すべてを測定すると測定画面右上に総合判定結果が表示されます。

注意

総合判定は A~E 地点すべての平均値と設定基準値の比較から判定されます。



13. アプリのインストールと起動

13-1 「AD-3256 Logger」をダウンロードする

本アプリはデータの転送・保存・出力・測定データ表示ができます。アプリは5ページ「1. はじめに」に記載のQRコード「AD-3256 製品ページ」または弊社のホームページの「AD-3256」の製品情報ページからダウンロードしてください。

以下のQRコードのリンクからもダウンロードできます。ダウンロードしたアプリは任意の場所に保存してください。

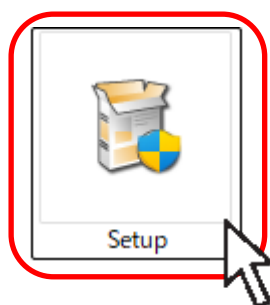


AD-3256 Logger

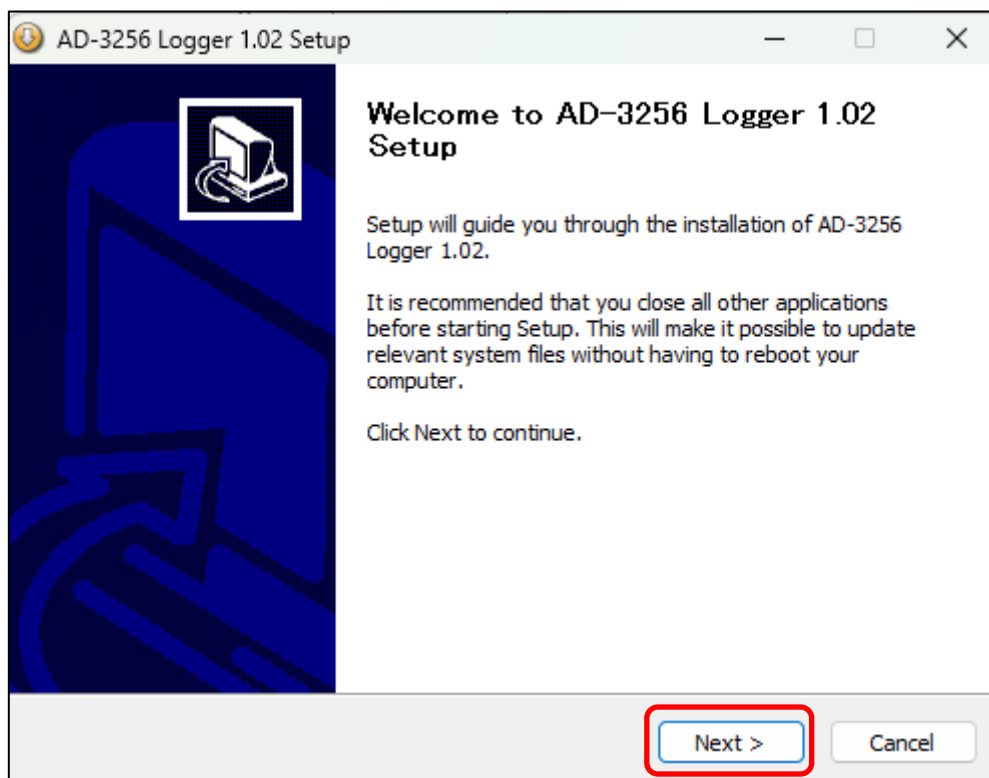
※ソフトは予告なくバージョンアップすることがあります。そのため、手順内の画像と違う場合があります。

13-2 「AD-3256 Logger」をインストールする

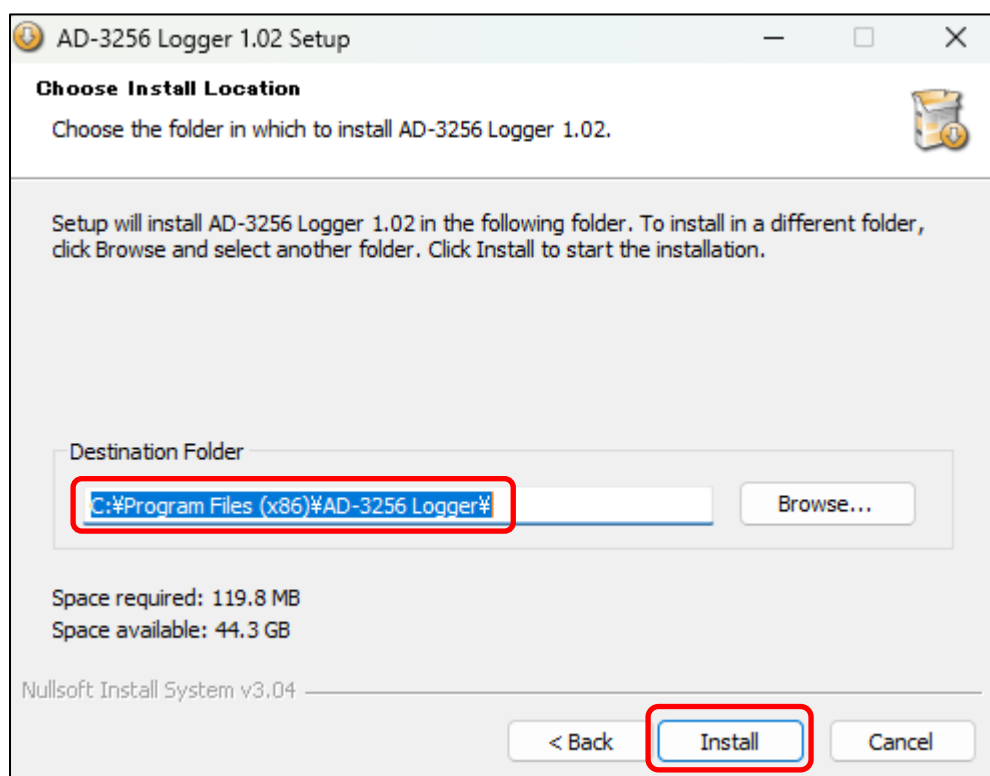
任意の場所に保存した zip ファイルを右クリック、「すべて展開」を選択、保存するフォルダーを指定し、「展開」ボタンをクリックします。指定したフォルダー内にあるインストールファイル「Setup」をダブルクリックしてください。



インストール画面が起動するので、「Next」をクリックします。



保存先フォルダーを確認し、「Install」をクリックします。なお、保存先フォルダーは任意の場所を指定できます。



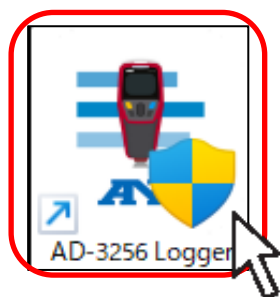
13-3 「AD-3256 Logger」を起動する

以下手順でアプリを起動してください。

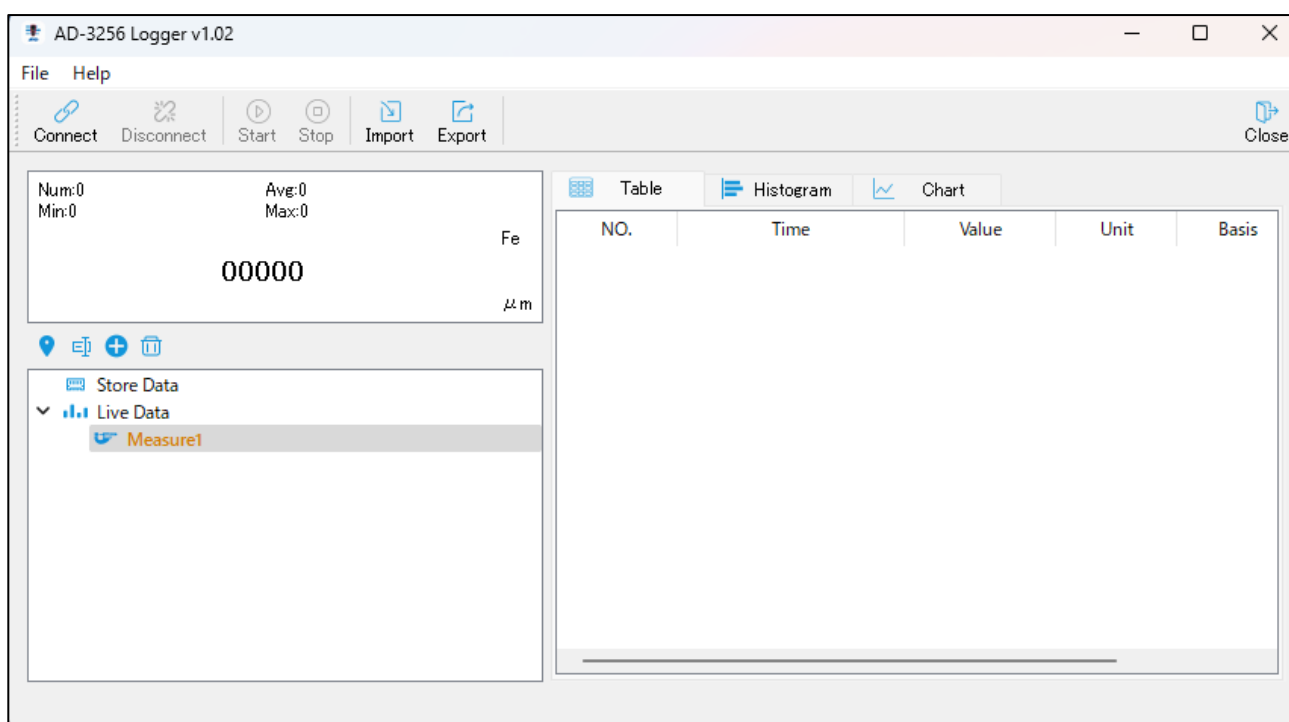
注意

ユーザーアカウント制御による許可を求められることがあります。「はい」を選んでください。許可したくない場合は「いいえ」を選んでください。「いいえ」を選択された場合、本ソフトを使用することができませんので、ご了承ください。

アプリのインストールが完了すると以下のショートカットアイコンが作成されるので、アイコンをダブルクリックします。



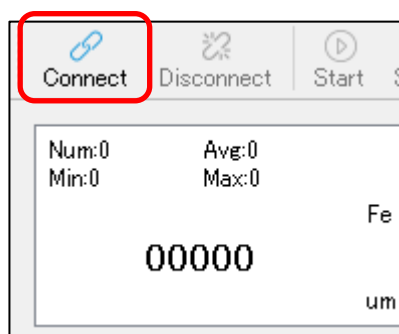
以下アプリホーム画面が表示されます。製品本体と PC を付属の USB ケーブルで接続し、本体電源を ON します。



13-4 製品本体を接続する

製品本体と PC を USB ケーブルで接続した後に、アプリでの接続操作が必要です。

ツールバーの「Connect」をクリックすると、各種操作が可能になります。



14. 表示と機能

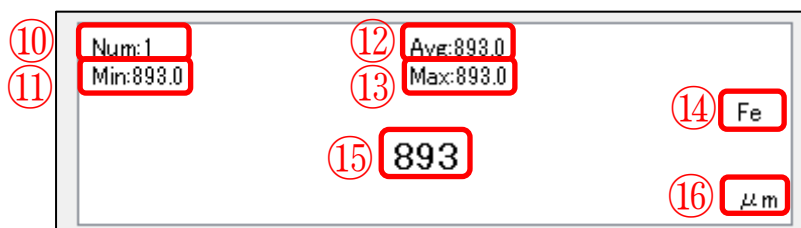
14-1 メニューとツールバー



表示アイコン

番号	アイコン	説明
①		「Connect」、「Disconnect」、「Start」、「Stop」、「Import」、「Export」、「Close」の機能を実行します。
②		英語版の取扱説明書が閲覧できます。
③		製品本体とアプリの接続(通信)を開始します。
④		製品本体とアプリの接続(通信)を切断します。
⑤		「Live Data」でデータ取得を開始します。
⑥		「Live Data」でデータ取得を停止します。
⑦		保存した Exel データを読み込みます。
⑧		読み込んだデータを保存します。
⑨		アプリを終了します。

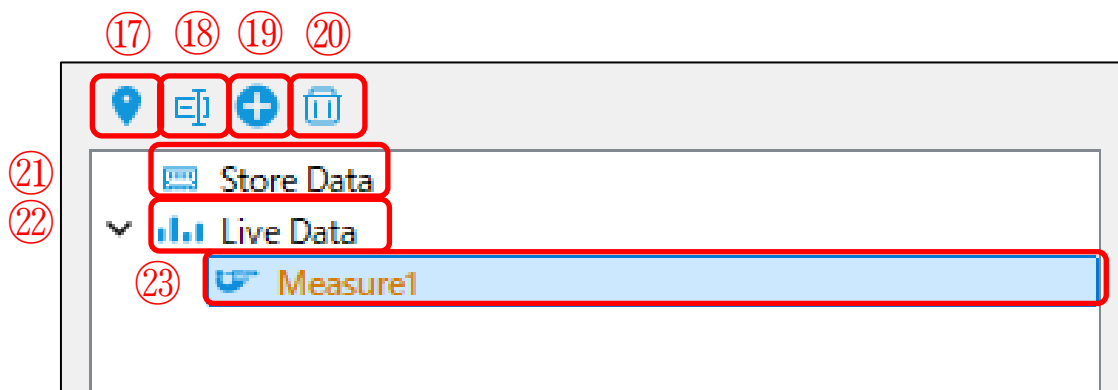
14-2 測定データ表示



表示アイコン

番号	アイコン	説明
⑩	Num:	測定データ数
⑪	Min:	測定データ最小値
⑫	Avg:	測定データ平均値
⑬	Max:	測定データ最大値
⑭	Fe	測定対象素地 (Fe : 鉄素地、NFe : 非鉄素地)自動判別
⑮	893	測定値
⑯	μm	測定単位

14-3 フォルダ表示と操作



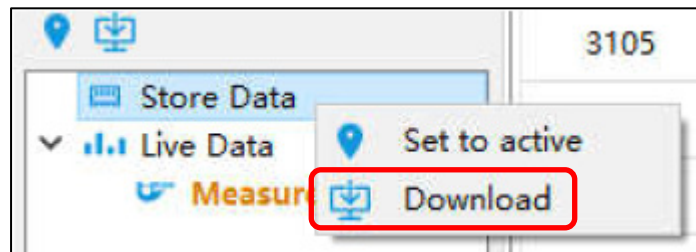
表示アイコン

番号	アイコン	説明
①7		選択したフォルダのデータを表示します。
①8		選択したフォルダの名前を変更します。
①9		新規フォルダを作成します。
②0		フォルダを削除します。
②1		製品本体のデータを表示及び読み込みます。 ※詳細は 46 ページ「15. PC で測定データを確認する」 をご参照ください。
②2		Live フォルダの表示非表示を選択します。
②3		「Live Data」で測定したデータを確認します。 ※詳細は 55 ページ「17. Live Data を表示する」 をご参照ください。

15. PCで測定データを確認する

本製品は測定する毎に自動的にデータ記録します。記録データの確認は本体ではできないため、アプリによる読み込みまたはPCにデータを保存する必要があります。

「Store Data」を右クリックし、「Download」をクリックします。



「Download」をクリックすると、「Downloading data」と表示されます。読み込みが完了すると、以下の様に測定データを確認することができます。

⑥

Table Histogram Chart				
NO.	Time	Value	Unit	Basis
1	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe
2	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe
3	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe
4	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe
5	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe
6	2024-11-25 09:39:26	867	μm	Fe

① ② ③ ④ ⑤

表示アイコン

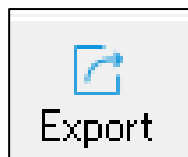
番号	説明
①	通し番号を表示します。
②	測定データ読み込み時の時間を表示します。
③	膜厚測定値を表示します。
④	測定単位を表示します。
⑤	測定対象の素地を表示します。
⑥	表示をタブで選択できます。

16. データを保存する

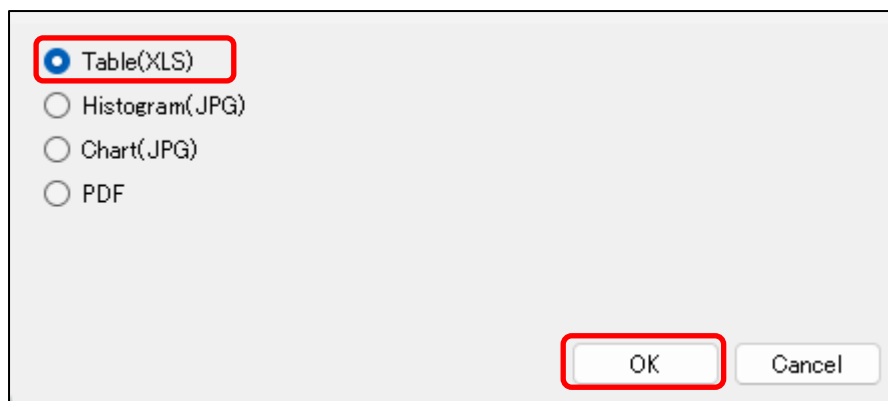
Excel (XLS)、JPG、PDF 形式でデータを保存することができます。

16-1 Excel でデータを保存する

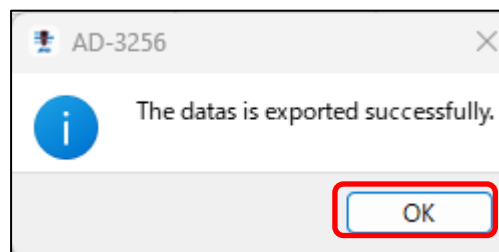
手順 1. ツールバーの「Export」をクリックします。



手順 2. 「Table (XLS)」を選択し、「OK」をクリックします。



手順 3. 「The datas is exported successfully.」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。



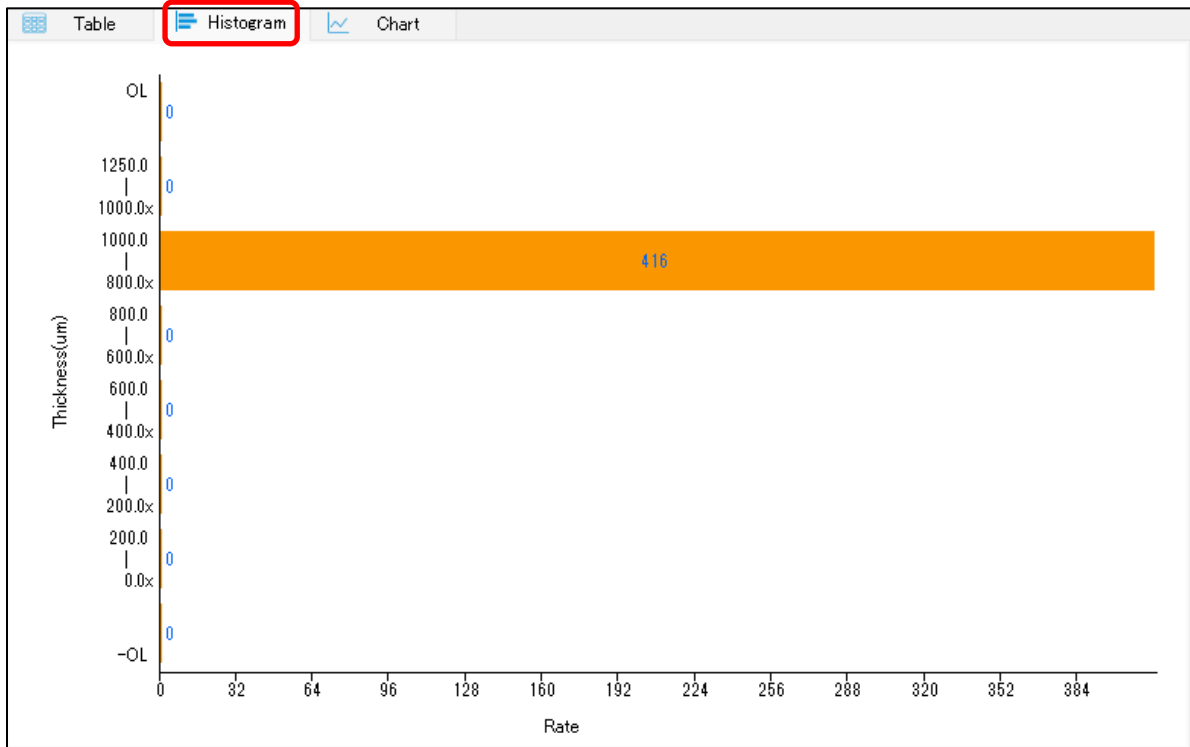
手順 4. 保存場所とファイル名を入力し「保存」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	No.	Time	Value	Unit	Basis			
2	1	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
3	2	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
4	3	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
5	4	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
6	5	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
7	6	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
8	7	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
9	8	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			
10	9	2024-11-25 09:39:26	867	μ m	Fe			

Excel 保存データ例

16-2 JPG でデータを保存する

手順 1. ホーム画面表示タブを「Histogram」または「Chart」にします。

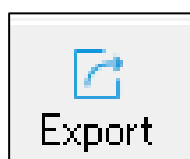


Histogram 表示画面例

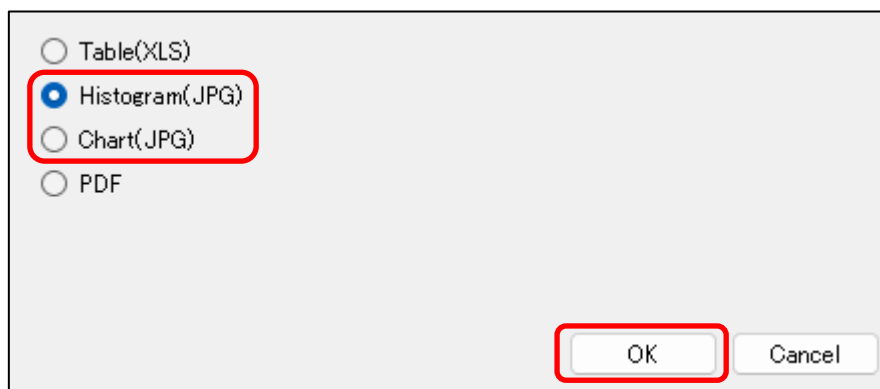


Chart 表示画面例

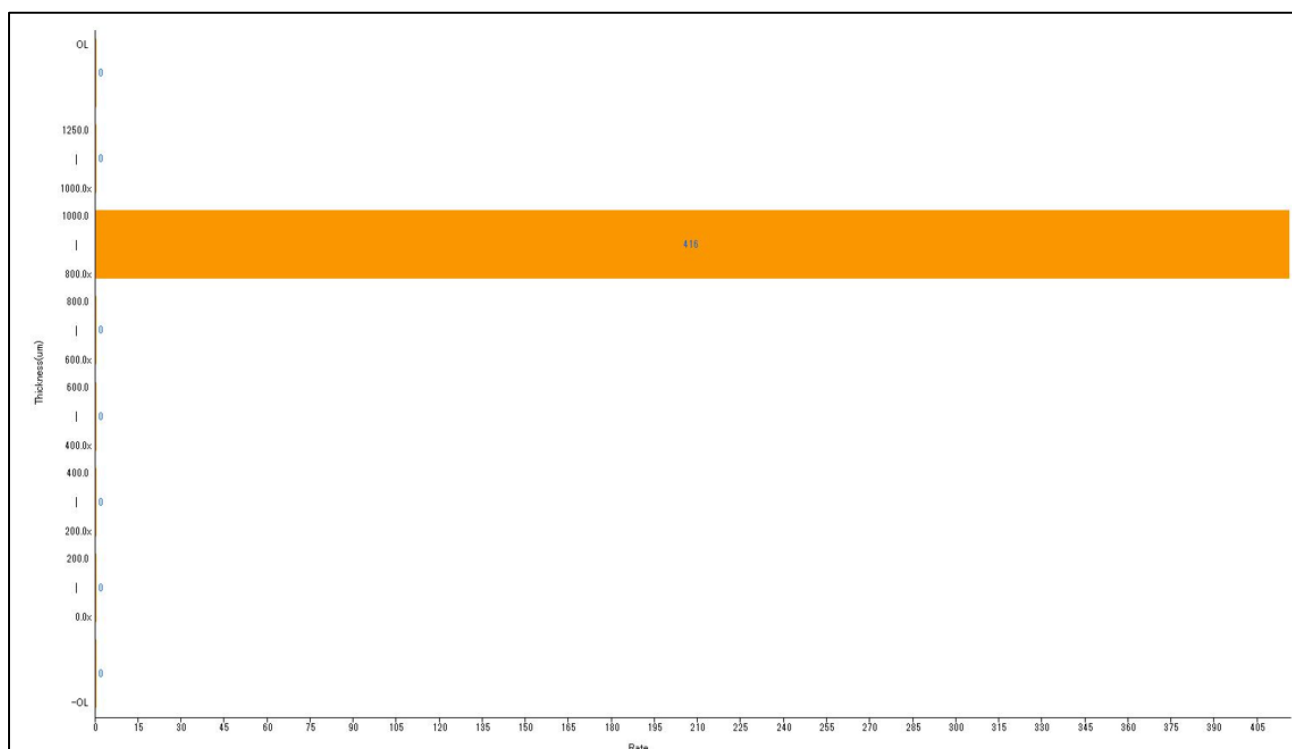
手順 2. ツールバーの「Export」をクリックします。



手順 3. 「Histogram」または「Chart」を選択してください。



手順 4. 保存場所とファイル名を入力し、「保存」をクリックします。



Histogram 保存データ例

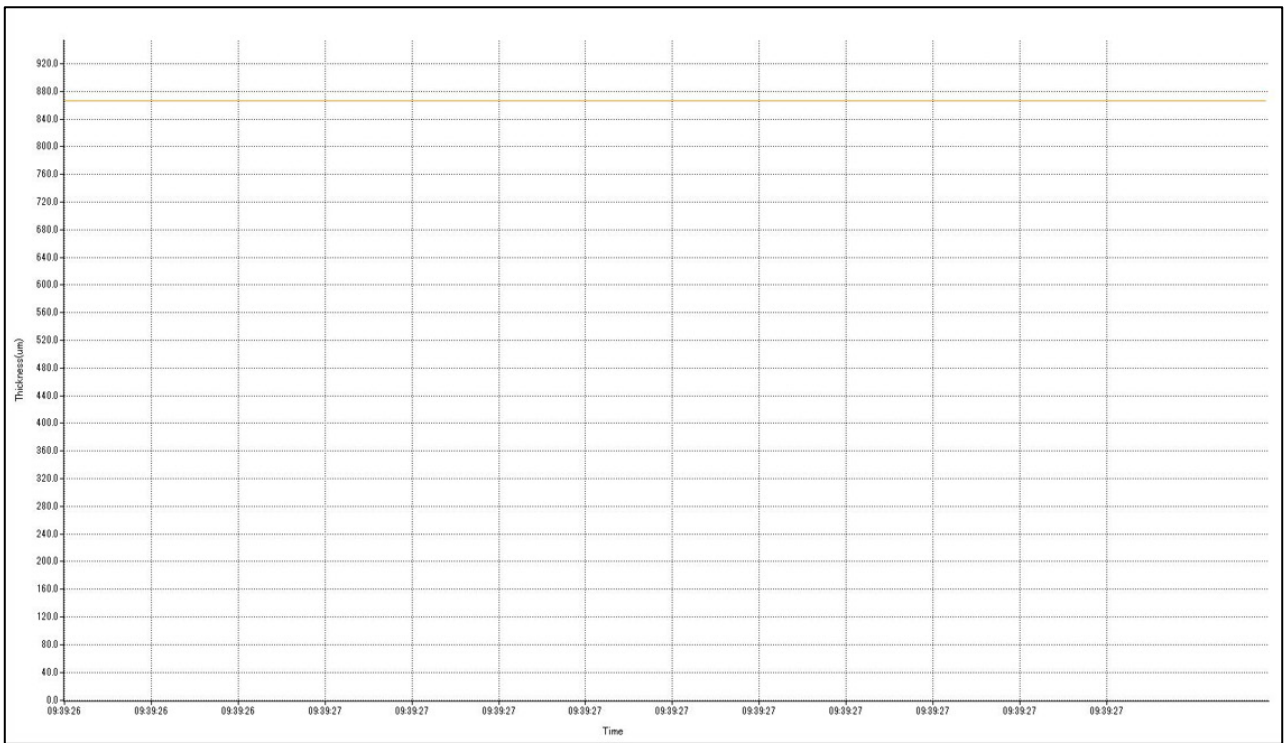
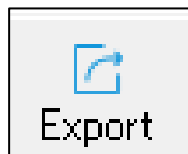


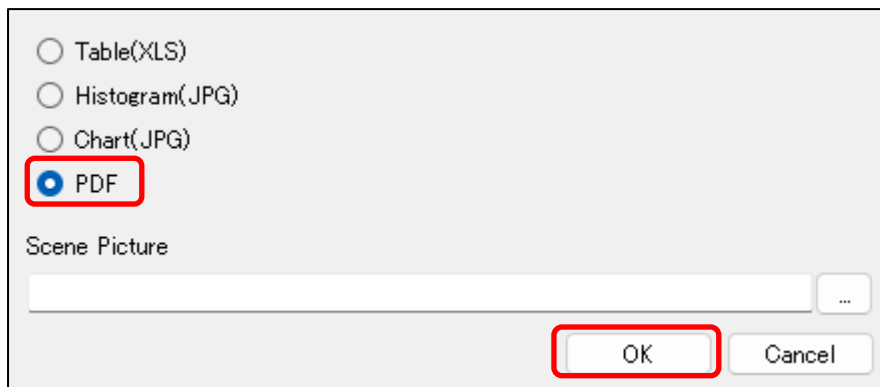
Chart 保存データ例

16-3 PDF でデータを保存する

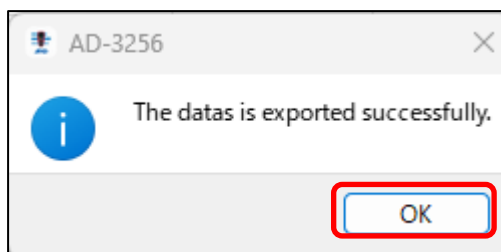
手順 1. ツールバーの「Export」をクリックします。



手順 2. PDF を選択してください。

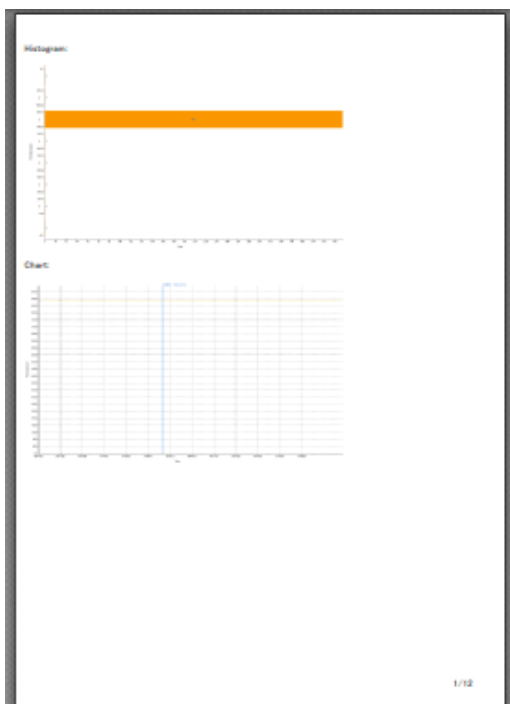


手順 3. 「The datas is exported successfully.」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。



Histogram
データ

Chart データ



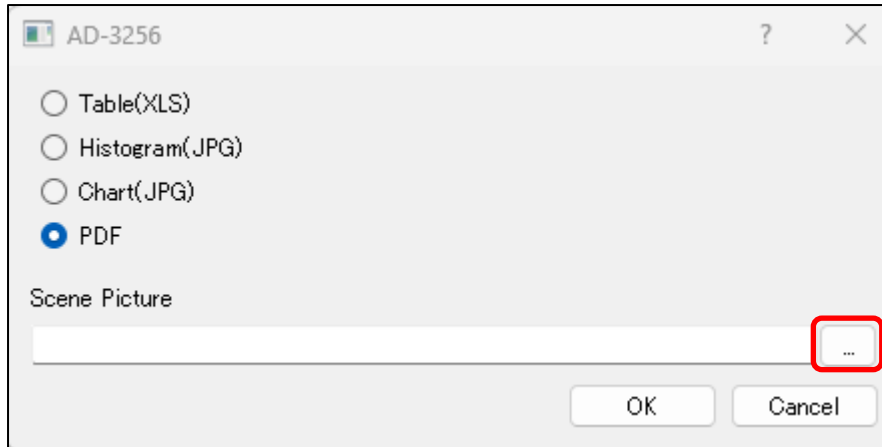
Excel データ

No.	Time	Value	Unit	Base
1	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
2	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
3	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
4	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
5	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
6	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
7	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
8	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
9	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
10	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
11	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
12	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
13	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
14	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
15	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
16	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
17	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
18	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
19	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
20	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
21	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
22	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
23	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
24	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
25	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
26	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
27	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
28	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
29	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
30	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
31	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
32	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
33	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
34	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
35	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
36	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
37	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
38	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
39	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa
40	2004-11-25 08:39:28	887	mm	Fa

PDF 保存データ例

補足

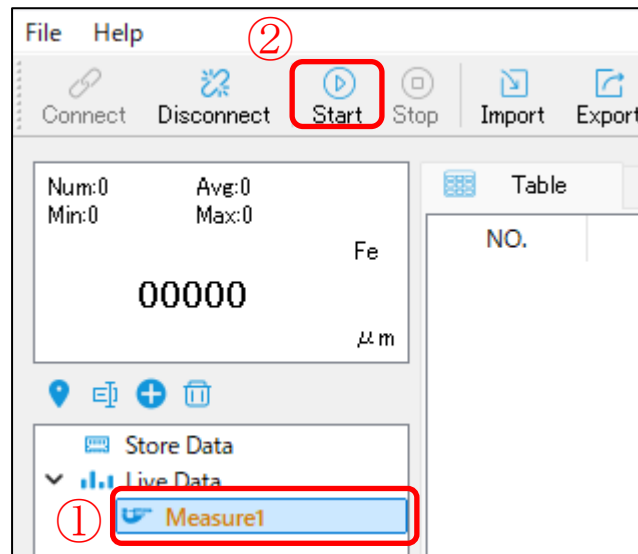
PDF データの先頭ページに画像を取り込みたい場合は「Scene Picture」の をクリックし、画像の選択をしてください。



17. Live Data を表示する

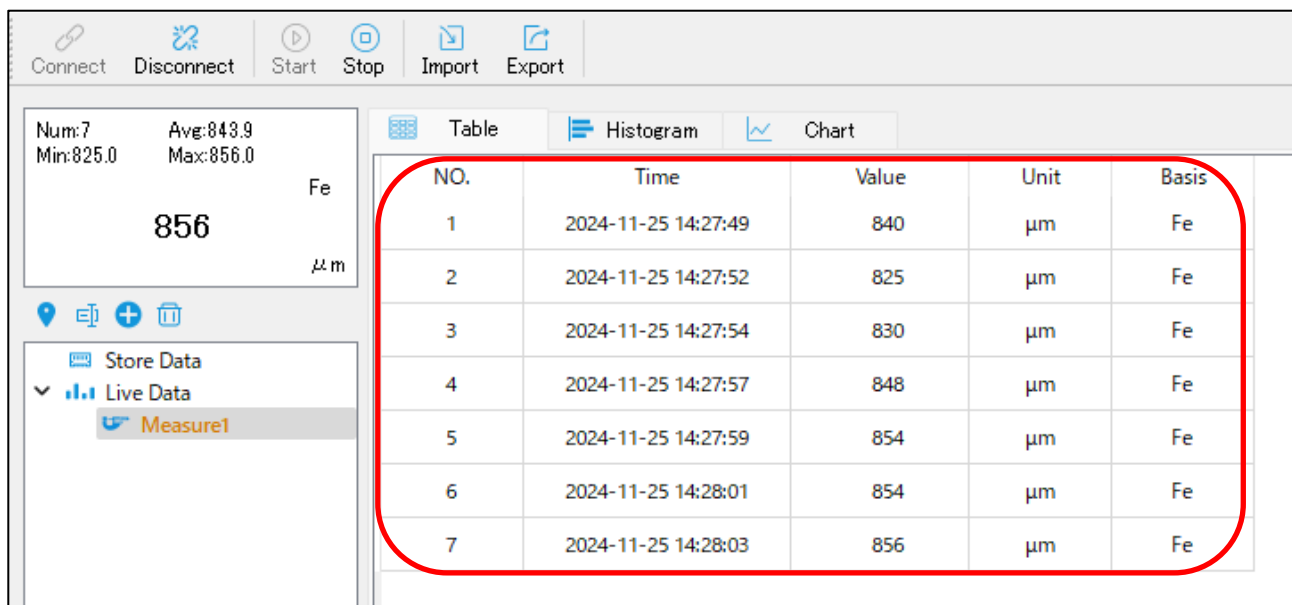
「Live Data」はリアルタイムに測定データをアプリ上に表示します。(データ件数：500件以上)

手順 1. ①「Measure1」をダブルクリックした後、②「Start」をクリックします。

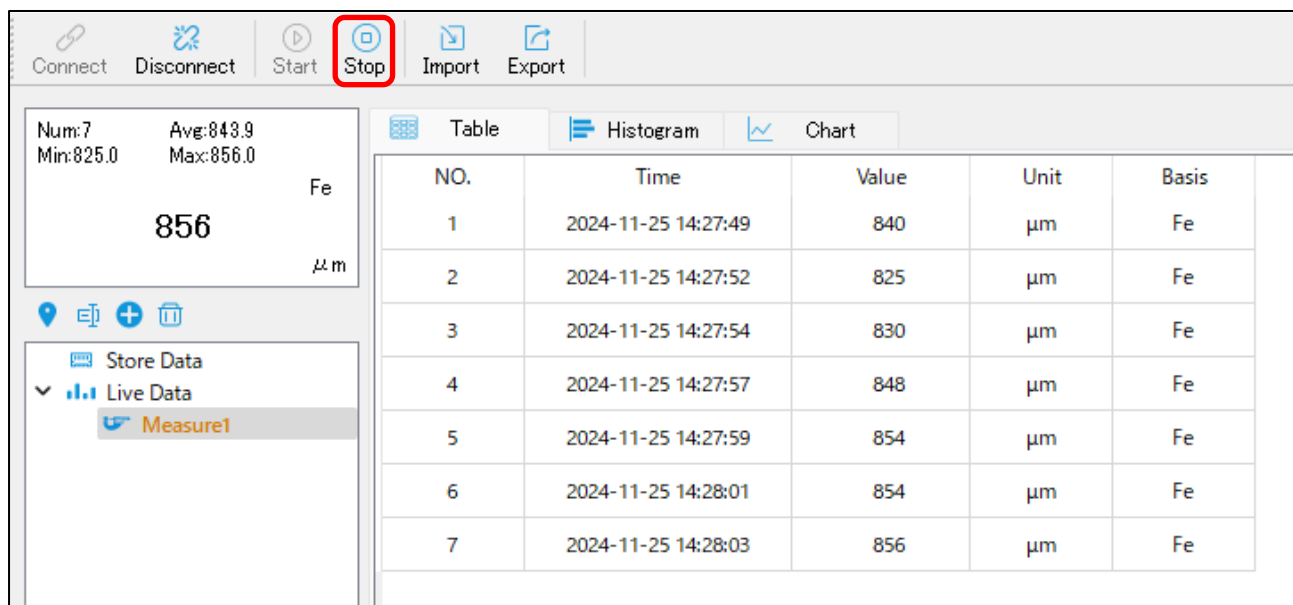


手順 2. センサー部を測定対象に押し当て、測定します。

以下の様に測定結果が表示されます。



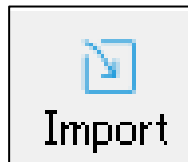
手順 3. 「Stop」 をクリックすると測定データの取得は停止します。



18. 保存したデータを読み込む

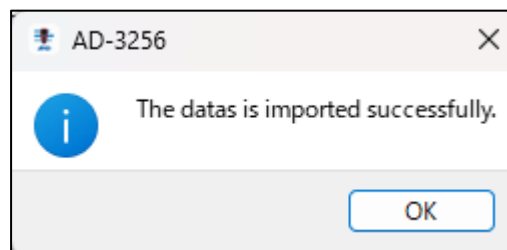
保存した Excel データを読み込み、表示します。

手順 1. ツールバーの「Import」をクリックします。

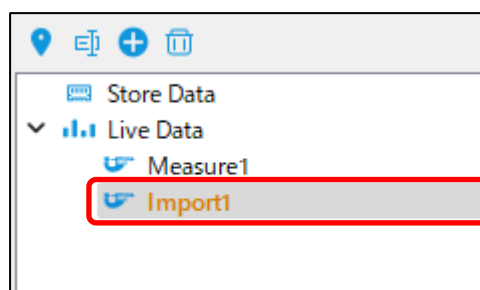


手順 2. 読み込みデータの選択をします。

手順 3 「The datas is imported successfully.」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。



「Table」では測定データ、「Histogram」、「Chart」ではグラフが表示されます。また、自動的に「Import」のフォルダーが作成されます。



19. こんなときには

何も表示されない。	電池の残量を確認してください。
表示が薄くなり、見にくい。	<ul style="list-style-type: none">• 電池の残量を確認してください。• 低温下では、液晶画面表示が薄くなりますが、故障ではありません。
正常な動作をしない。	<ul style="list-style-type: none">• 何らかの原因で、内部回路の動作が停止している可能性があります。電源を切り、1分程度待ってから、本製品の電源をオンしてください。• 30 ページ「12-5 デバイス初期化」を行ってください。• 電池残量が少なくなると、正常に動作しない場合もありますので、新しい電池と交換してください。
測定値が明らかにおかしい。	<ul style="list-style-type: none">• ゼロ点がずれている可能性があります。16 ページ「10-1 調整」または24 ページ「12-3 2点調整」を行ってください。• ゼロ点調整時に使用したゼロ点調整板の素地と測定対象の素地が異なっている可能性があります。測定対象素地にあったゼロ点調整板を使用して、再度ゼロ点調整を実施してください。• 残留磁気により測定値に影響を与える場合があります。

<p>製品本体の表示画面がフリーズしてしまう。</p>	<p>本体を PC に接続しているが、アプリに接続(通信)していない状態で測定を実施すると、製品本体の表示画面がフリーズしてしまう場合があります。</p> <p>本体から USB ケーブルを取り外し、再度接続すると測定値が表示され、操作できるようになります。</p>
<p>「Histogram」や「Chart」のデータうまく保存ができない。</p>	<p>50 ページ「16-2. JPG でデータを保存する」をご参照頂き、正しい手順での実施をしてください。</p>

20. 仕様

項目	内容
測定方式	電磁式・渦電流式
測定範囲	0 ~ 1250 μm
分解能	0.1 μm (0.0 ~ 99.9 μm) 1 μm (100 ~ 1250 μm)
測定精度	$\pm(3\%+5)$ μm (0 ~ 99.9 μm) $\pm(3\%+1)$ μm (100 ~ 1250 μm)
動作温湿度範囲	0 ~ 40°C、 $\leq 80\%RH$ (結露しないこと)
保存温湿度範囲	-20 ~ 60°C、 $\leq 75\%RH$ (結露しないこと)
データ保存数	500 件
オートパワーオフ	約 5 分
出力仕様	USB (PC ソフト)
電源	単 3 形乾電池 2 個
電池寿命	約 6 時間 (アルカリ乾電池使用時)
本体寸法	65(W) \times 152(H) \times 41(D) mm
質量	約 180 g (電池含む)
材質	本体 : ABS、熱可塑性ゴム 画面 : PC ボタン : シリコン センサー部 : 銅合金

項目	内容
付属品	ゼロ調整板 (鉄素地用、非鉄素地用、各 1 枚) 調整用試験片 マイクロ USB ケーブル (Type-A – Type-B) キャリングケース センサーキャップ ストラップ 電池(モニタ用) 簡易取説
別売品	電池フタ : AXP-AD3256-1 センサーキャップ : AXP-AD3256-2 キャリングケース : AXP-AD3256-3 ゼロ調整板、調整用試験片 : AXP-AD3256-4

白紙

使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

お客様相談センター

電話 **0120-514-019**

通話料無料

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

修理をご依頼される方へ

詳しくはこちらをご確認ください。

https://link.aandd.jp/Support_Repair_Jp



2023年04月01日現在のリンク先 URL：
https://www.aandd.co.jp/support/repair_info/pickup.html